

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (東北)	◎	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数は3か月前比120%と伸びている。
	◎	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月もせり鍋目当ての県外客が多い。地元客だけでなく県外客が多いため、売上も良い。
	◎	観光名所（職員）	来客数の動き	・来客数は日本人客、インバウンド共に増加している。鉄道会社の特別企画乗車券の影響も非常に大きい。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・3月は花粉症の薬の販売が好調で、売上が伸びている。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・物価高の影響もあって客単価が良いため、売上は前年比110%となっている。好天が続いたことから客足は良いものの、前年比では余り変わらない。
	○	一般小売店〔茶〕（経営者）	お客様の様子	・冬の間は景気が悪くなりがちだが、春に向かうにつれ上向きの雰囲気が出てきている。
	○	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・新年度を控え、必要な物には投資を惜しまない雰囲気がある。
	○	百貨店（経営者）	販売量の動き	・従来の春の返礼ギフトは全体的に縮小している。少子高齢化やホワイトデー消費の変化などマーケット全体のギフトの価値観が変わっている。一方で、寒い日が続くなか、春の衣料品はようやく活発に動き始めた。
	○	百貨店（経営者）	来客数の動き	・物価高の影響はあるものの来客数が大きく伸長している。また、高額品の買上も順調であり2極化が進んでいる。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・当地域では商品券が配付され、それで買物をする人が多くなっているため、売上が増加している。
	○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・物価高によるコンビニ離れを感じていたが、暖かくなったためか、来客数が1割増増加している。
	○	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車が発売になり販売量が少しずつ伸びている。
	○	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・物価高は続いているが、買換えに前向きな客が多い。
	○	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症発生前の売上と比べるといまだ低い水準にあるものの、年度末に向けて受注が増加している。繁忙期であり、学校案件や新入学、新年度に向けた納入が重なっている。3月に受注が集中することは、有り難い半面、キャパシティを超えると負担感が強まる。
	○	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・台湾、タイ、マレーシアからのインバウンドが増加している。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・来街者数に大きな変化はないものの、急激な原油価格高騰の影響を受け、ガソリンを始め生活用品の値上げに歯止めがかからない。景気は小康状態である。
	□	百貨店（従業員）	お客様の様子	・来客数は微増傾向だが、全体的な売上に変化はない。新生活需要なども目的買いが主体となっており、節約志向は継続している。
	□	スーパー（経営者）	単価の動き	・3月の平均1品単価の上昇を前年比2%半ばまで抑えた。原価高分の価格転嫁を進めて売価は上がったが、対策も講じたため前年割れが続いていた来客数は下げ止まっている。買上点数の前年割れは依然続いており、収益は前年と同じ推移である。客の消費抑制、節約志向は依然として強く、消費の動向は変わらない。
□	スーパー（店長）	販売量の動き	・米の消費は低迷している。酒は前年の3月に値上げ前の特需があったものの売上は前年と変わらず、大健闘しているといえる。	
□	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は前年を辛うじて上回っている。	

<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	単価の動き	・米の単価は下がる一方で、ガソリン価格が値上がりしたため、特売品などより安い商品が売れる傾向にある。また、値引き商品を買求める客も増えている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（商品担当）	販売量の動き	・物価上昇による単価の上昇は続いているが、販売量は依然として伸びず、客単価は横ばいである。来客数も横ばいが続いていることから、景況感に変化はない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数、客単価共に前年比100%を超えているが、来客数の増加は本部施策によるもので、客単価の上昇は物価上昇によるものである。景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新入社員の制服や作業服等の注文があり、法人関連の売上は好調だが、店頭販売の売上は期待したほどではない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・販売量は少し増えたものの客単価が低い。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・入学需要は2～3月のトータルでは前年並みに推移しているが、一般ビジネスは苦戦している。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	単価の動き	・ガソリン価格が上がり、客に不安感がうかがえるものの、買換えや引っ越し需要は平年並みである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の配車は決算期ということもあり微増している。中古車は、需要はあるが相変わらず在庫不足である。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・受注生産のため2～3か月先までの販売量はほぼ決まっている。しかし、中東情勢の影響により先行きが不透明になっており、現在は見積りを出しても決まらない状況にある。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 〔靴〕（経営者）	販売量の動き	・原油価格の高騰や商品値上げの影響により、購入を慎重に検討する様子がみられる。
<input type="checkbox"/>	その他小売 〔ショッピングセンター〕（統括）	来客数の動き	・売上は前年比102%、来客数は同98%で、前年未達の状況は前年9月から継続中である。前年並みを維持していたフード業種も来客数同97%と減少傾向にある。物価高を背景に1品単価が上昇しており、複数点購入が伸び悩んでいる。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・外部要因と内部要因が重なり、来客数は厳しい状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・来客数は前年比約97%で推移している。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・来客数の推移は前年と同様である。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・卒業旅行を目的とした学生の利用は若干あるが、全体的に来客数は少ない。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・物価上昇による手控え感が多少みられる。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前と比べて来客数が300人ほど多くなっているが、全体的な業績は変わらない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・販売量は前年同期比ほぼ100%で推移している。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・販売量は前年同期比でほぼ変わらない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	単価の動き	・通院客や買物客のほか、卒業式や職場の異動に伴う利用が多い。また、月末には高校生のスポーツ大会があるため利用者が多くなる。
<input type="checkbox"/>	通信会社（経営者）	お客様の様子	・ショッピングモールでイベントを開催し、加入促進キャンペーンを行った。来場者は前年より多かったが、新規加入者数は伸びなかった。既加入者の追加契約は若干伸びたが、転勤による解約者も多く、純増数は2～3か月前と同程度である。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の設備投資意欲に変化はみられない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	それ以外	・緊急的激変緩和措置により、ガソリン価格が下がってきている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・販売数量、受注見込み共に特に変化はない。

□	観光名所（職員）	来客数の動き	・ここ数か月、団体客の予約、振り客共に微増で変わらない。
□	遊園地（経営者）	来客数の動き	・新機種の導入や3連休があったものの、来客数は前年を少し上回る程度の見込みである。
□	美容室（経営者）	単価の動き	・施術工程や料金設定の見直しにより実質的に料金の値上げを行っているが、客単価は前年比では僅かな増加にとどまっている。むしろ必要最低限に抑える傾向がみられる。
□	美容室（経営者）	来客数の動き	・3月は卒業や異動の時期のため、当事者や関係者の来店が月を通して多くなっている。
□	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	販売量の動き	・最低賃金引上げや石油関連製品を始めとする各種価格の上昇により、仕入コストや経費が増加し、金利も上がっている。それでも、受注数及び販売額は好調な状態を維持している。なお、販売価格は4月に改定を予定している。
□	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・業務の進捗に良くも悪くも変化がない。
□	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	販売量の動き	・先送りになっていた工事の完了が増えたが、金額が大きい工事の受注は減っている。緊急性の高い水回り修繕や給湯器の交換は増えている。
▲	商店街（代表者）	販売量の動き	・年度末にもかかわらず売上が上がらない。
▲	百貨店（企画担当）	来客数の動き	・来客数は前年比96%、客単価は同105%である。ラグジュアリー商材の値上げによる影響と高額品の購入傾向があるインバウンドの増加により客単価は伸長したが、来客数は引き続き減少傾向である。
▲	百貨店（営業担当）	それ以外	・衣料品等の売上に降雪の影響が残っている。
▲	スーパー（経営者）	それ以外	・中東情勢の不透明感を背景に、消費財の値上げが広がっている。節約志向の高まりによる客の買い控えが懸念される。
▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・ガソリン価格の高騰に伴い買上点数が減少している。前月比、前年比共に悪化している。
▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・買上点数が落ちている。
▲	スーパー（店舗運営）	販売量の動き	・中東情勢の影響によるガソリン価格の高騰を機に、買い控えが発生している。
▲	スーパー（業務担当）	お客様の様子	・中東情勢の影響により原油供給の先行きが見通せない。石油製品の値上がりにより、消費者は支出を抑制しており、必要な物しか購入しない傾向がみられる。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数の増加が止まっている。また、商品が値上がり傾向にあるなか、客単価が低下している。
▲	コンビニ（経営者）	それ以外	・除雪代の支払がまだ残っている。売上も上がらず、発注過多により赤字となっている。厳しい状況が続いており、改善される見込みもない。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数はやや減少しているが、商品価格の上昇でカバーしている。販売量は横ばいである。こうした状況は6か月以上続いており、上振れする兆しはみられない。
▲	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・単価上昇による売上増加の効果が薄れている。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前月までは良かった来客数が減っている。ガソリンなど物価が上昇した影響とみている。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年に施策を強化した反動もあり、来客数は前年の水準に達するのが難しい状況である。
▲	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・春物は動き出したが、売上の多くは一部の顧客によるものであり、客層の広がりが少ない。灯油やガソリンを始め、生活に直結するものの値上がりが消費にブレーキを掛けているとみている。
▲	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・原油価格の高騰と関連する商品の値上げが続くなか、目的買い以外のふだん着需要が不安定になっている。

▲	衣料品専門店 (総務担当)	来客数の動き	・車での移動が不可欠な地方都市では、ガソリン価格の高騰による影響が大きい。中東情勢の先行きが見通せないなか、物価高が更に生活を圧迫すると予想され、消費マインドは低下している。
▲	家電量販店 (従業員)	販売量の動き	・販売数量が全体的に減っており、やや悪い状況である。特にパソコン本体や周辺機器の生産に必要な半導体の不足により、生産の遅れやラインアップの縮小が生じ、販売数量に大きな影響が出ている。売上、販売量共に前年比約80%にとどまっており、新生活の始まりとともにパソコン需要が最も高まる時期にもかかわらず売れる商品がないため、実績が上がらない。
▲	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・繁忙期だが、ガソリン価格など各種物価の上昇により買い控えがみられ、販売量は想定を下回っている。
▲	乗用車販売店 (店長)	販売量の動き	・中東情勢の影響によりガソリン価格が高騰しており、買い控えの動きが見え始めている。新車部門では特にガソリン車の売行きが今月に入ってかなり悪化しており、買換えを先延ばしにするという声も聞く。
▲	住関連専門店 (インテリアコーディネーター)	単価の動き	・物価上昇が続いており、建築業界でも資材価格が上がる一方である。
▲	その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	単価の動き	・中東情勢の影響により販売価格が高騰した後、緊急的激変緩和措置によって価格が下落するなど大幅な価格変動があったことから、販売量は減少している。さらに、石油製品の今後の供給不安が広がり、元売りによる出荷規制も始まっている。
▲	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・3月は卒業式などもあり来客数が多くなる時期だが、今年はそれも少ない。来客数が伸び悩んでいる状況が続いている。
▲	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・3月は歓送迎会などがあり来客数も多少は多かったが、4～5月の宴会の予約数は少ない。
▲	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・日中関係や中東情勢の影響を受け、来客数は減少している。経済の先行きに不透明感があり、旅行を控える客が多くなっている。
▲	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・原油価格高騰による値上げラッシュへの懸念から、設備投資を手控える雰囲気がかかっている。
▲	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・来客数は目標値に対し、3か月前は108%だったが、今月は106.1%と下向いている。
▲	観光名所 (職員)	来客数の動き	・観光客数が激しく落ち込んでいる。3か月前から更に悪くなっている。
▲	ゴルフ場 (支配人)	来客数の動き	・物価の上昇に対し賃上げが追い付いていない。消費マインドの後退が懸念される。
▲	競艇場 (職員)	単価の動き	・来客数に大きな変化はないが、客単価は大きく低下している。
▲	美容室 (経営者)	来客数の動き	・客は常連客のみであり、一定のサイクルで来店するため、今月は来客数が少ない。
▲	その他サービス [寮管理] (管理人)	お客様の様子	・中東情勢の影響により、ガソリン価格の高騰などエネルギー関連の不安定化が進み、景気が後退している。中小企業の倒産件数は減少しているものの、潜在的赤字企業は増えている。
×	一般小売店 [医薬品] (経営者)	来客数の動き	・来客数の減少が著しい。緩下剤のようなコンスタントな需要があるはずの医薬品ですら売れなくなっている。医薬品を含め当店で扱う商品のほとんどはネットでも売られており、価格もとても太刀打ちできないようなレベルになっている。不景気の影響だけでなく、ネット通販が全世代を通して本格的に普及してきた結果かもしれない。
×	一般小売店 [酒] (経営者)	販売量の動き	・中東情勢の緊迫化により原油価格が上昇するなか、ガソリン価格の高騰や物価高に対する報道により、消費マインドは冷え込んでいる。し好みである酒への支出抑制や外食など遊興費の節約が顕著にみられ、販売量が減少している。
×	スーパー (経営者)	お客様の様子	・中東情勢の影響による原油価格高騰に伴い、ガソリンを始め物価が上昇しており、買い控えが発生している。

	×	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・3月は卒業、入学、転勤などで業界の繁忙期だが、今年は春の衣替えや転勤の話が少ない。また、メインの高校を卒業して進学する人のスーツ需要も少なく、苦戦している。
	×	その他専門店 〔酒〕(経営者)	単価の動き	・中東情勢の影響により物価が上昇している。生活必需品や食品、雑貨の購入が優先され、嗜好品は動かなくなっている。
	×	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・中東情勢の影響もあるのか、振り客が更に減少しており、特に夜は予約客しかいない。単価の低い居酒屋部門でも平日の客足は鈍い。和食部門では冠婚葬祭や組合・団体による利用状況は悪くないが、法人関連の動きは悪い。全体的に消費マインドは低調で、景気は悪い。
企業 動向 関連 (東北)	◎	—	—	—
	○	輸送用機械器具 製造業(経営者)	取引先の様子	・一部事業の良い動きが継続している。他事業の動きも良くなっており、受注売上に良い影響が出ている。
	□	農林水産業(従業者)	受注価格や販売価格の動き	・原油価格高騰の影響は今のところなく、客足にも影響はない。
	□	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・鉄道会社の特別企画乗車券の利用期間中は土産品の動きが良かった。期間終了後は動きが落ち込んでいるものの、前年の売上はクリアできそうである。
	□	食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・販売量の前年割れが続いており、悪い状況は変わらない。
	□	出版・印刷・同 関連産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・自治体の周年事業関連や観光振興キャンペーンなど4月から大型プロジェクトが本格化する。肌感覚では受注も上向きである。しかし、適正価格での受注にはあと一歩届かない状況にある。
	□	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・年度末の在庫調整による減産はここ3か月かけての調整だったので、特に変化はない。
	□	一般機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・半導体関連は比較的好調だが、他の業種は余り動きがなく、景気に変化はない。
	□	電気機械器具製 造業(総務担当)	取引先の様子	・海外情勢と世界経済が不安定ななか、動くに動けないといった慎重な様子である。
	□	建設業(従業 員)	受注量や販売量の動き	・資材価格の高騰が懸念材料である。3月までの仕入れ分はそれほど影響はないが、4月以降は価格の上昇が見込まれている。
	□	建設業(従業 員)	受注量や販売量の動き	・受注が好調な状況が続いている。これ以上は過剰受注になるため、状況は変わらない。
	□	通信業(営業担 当)	取引先の様子	・顧客からの価格引下げ要請が強く、厳しい状況である。
	□	金融業(広報担 当)	取引先の様子	・物価上昇の影響により住宅着工件数が減少し、住宅ローンの申込件数の減少も続いている。一方、インバウンドが好調のため、宿泊・飲食業等のサービス業は好調である。地域の個人消費は総じて底堅い状況にある。
	□	広告業協会(役 員)	受注量や販売量の動き	・経済予測が難しい状況下で、年度末の予算消化の駆け込み広告出稿は減少傾向にある。広告業界としては、3か月前と比べて大きな変化はない。
	□	広告代理店(経 営者)	取引先の様子	・今のところ、取引先において、来期の予算が大きく増えるところも大きく減るところもないと聞いている。
	□	公認会計士	取引先の様子	・顧客の月次、決算状況から判断している。小売業、サービス業は好調を維持しているが、製造業、建設業関係は業種によって景気が悪い顧客が出ている。全体としての景気は、製造業や建設業の業績悪化がマイナスに働いて、やや悪い印象を受ける。
	□	コピーサービス 業(従業員)	受注量や販売量の動き	・受注量は前年とほぼ変わらない。
	▲	農林水産業(従 業者)	それ以外	・燃料価格の上昇により、生産コストが上昇している。

	▲	食料品製造業 (製造担当)	受注価格や販売 価格の動き	・イベントの開催や鉄道会社の特別企画乗車券の効果で駅周辺の集客は高まり、飲食や土産品の需要も伸びている。一方で、平日と土日祝日との差が大きく、平日の地元客の集客策が必要である。
	▲	出版・印刷・同 関連産業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・繁忙月にもかかわらず印刷の発注量が減少している。売上は前年を下回っている。
	▲	電気機械器具製 造業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・パソコンの組立てがメインだが、メモリの入手不足が続 き、生産量が減少している。
	▲	建設業(従業 員)	受注量や販売量 の動き	・年度末だが、金額交渉の長期化もあいまって目立った受注 契約がない。
	▲	輸送業(営業担 当)	受注価格や販売 価格の動き	・世界情勢の悪化や燃料価格の高騰により、景気が悪くなっ ている。
	▲	不動産業(従業 員)	それ以外	・新築マンションの成約率が低下しており、中古マンションの 動きが鈍くなっている。
	▲	経営コンサルタ ント	それ以外	・中東情勢の影響により、ガソリン価格の高騰を始めもろも ろの環境が悪化しており、消費者の買い控えが一気に進んで いる。
	▲	その他企業[企 画業](経営 者)	それ以外	・ガソリン価格高騰の影響か、当地の観光施設を訪れる人の 数が目に見えて少なくなっている。灯油も値上がり前と比べ て価格が1.5倍となった週もあり、買い控えが発生してい る。
	▲	その他企業[協 同組合](職 員)	取引先の様子	・原油価格の高騰や不安定さから、原料、資材等の価格上昇 や入手の困難があり、先行きに懸念を抱いている。また、人 件費増加により、販売拡大や設備投資に前向きに取り組む意 欲が高まりにくい状況が見られる。
	×	窯業・土石製品 製造業(職員)	受注量や販売量 の動き	・官需、民需共に発注工事が低調で需要が落ち込んでおり、 厳しい状況である。
	×	輸送業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の高騰により、燃料価格 が急激に上昇し、収益を大きく圧迫している。
	×	その他非製造業 [飲食料品卸売 業](経営者)	受注量や販売量 の動き	・前年は4月に価格改定があり、3月は価格改定前の駆け込 み需要が大きかった。その反動が出ている。
雇用 関連 (東北)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・求職者数が前年比ではマイナス傾向にある。ただし、同業 の広告出稿強化の影響の可能性が高い。
	□	新聞社[求人広 告](担当者)	採用者数の動き	・県内では最低賃金以上を出せる企業は多くないようで、人 材確保に苦労している様子がうかがえる。
	□	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・有効求人倍率は前年比では低下しているものの、ここ数か 月は横ばいが続いている。
	□	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数は前年同期比で横ばいとなっている。
	□	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で増加しているが、直近3か月は ほぼ横ばいで推移している。
	□	学校[専門学 校]	求人数の動き	・専門学校に来る求人数は例年並みである。
	□	その他雇用の動 向を把握できる 者	周辺企業の様子	・原材料価格と人件費の高騰により、中小零細企業の廃業が 発生している。今後は重油価格の高騰による更なる悪影響が 懸念される。
	▲	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・中東情勢への不安感から、物流関係を中心に採用活動を控 える企業が出てきている。特に、原油価格高騰のダメージを 受けやすい業種からは、今後の採用を控えるという声を聞 く。
	▲	人材派遣会社 (社員)	それ以外	・中東情勢により原油価格が高騰しており、その影響が出て いると感じる。
▲	求人情報誌製作 会社(経営者)	周辺企業の様子	・石油関連を中心とした原材料価格の高騰を受け、値上げせ ざるを得ない企業が増えている。一方で、値上げの影響によ り売上が伸び悩む企業も多い印象を受ける。	
×	アウトソーシ ング企業(経営 者)	それ以外	・原油価格の高騰により、経費負担が増加している。	